

学 会 記 事

◎第9回理事会(37.2.23)出席者:永田,滝山正副会長ほか理事9名。議事:1)昭和37年度予算案について。2)第12回応用力学連合講演会について。3)スイス工学会よりの日本視察団について。4)日本ACIより今後の運営について協力方の要望があったことについて。5)38年度の総会を関西で開催することについて。6)委員の委嘱,交代について。

① 第12回応用力学連合講演会運営委員

石原 藤次郎 京大教授
岡本 舜三 東大教授
最上 武雄 “ “
奥村 敏恵 “ (土木学会理事)
林 泰造 中大教授(“)
後 藤 正司 早大教授

② トンネル工学研究委員会

委員長 藤井松太郎 日本交通技術KK社長
委員 内田 襄 日本道路公団工務部長
住友 彰 KK橋梁コンサルタンツ
◎伊吹山四郎 建設省土木研究所道路研究室長
比留間 豊 “ 道路局,日本道路公団監理官
三谷 健 “ 大臣官房技術調査官
新井 義輔 電源開発KK調査役
志賀 豊 “ 土木部工事課長
◎小針 滋郎 “ 土木部工事課
水越 達雄 東京電力KK建設部長
村山 朔郎 京都大学教授
◎丸安 隆和 東京大学教授
小宅 習吉 飛島土木KK常務取締役, 東大講師
坂本 貞雄 国鉄静岡幹線工事局長
高坂 柴朗 “ 東京幹線工事局長
粕谷 逸男 “ 建設局建設課長
◎吉村 恒 “ 建設局線増課
◎加納 俊二 KK熊谷組常務取締役
西嶋 国造 帝都高速度交通営団工事々務所長
◎森 宣制 労働省産業安全研究所土木建築課
井 深 功 横浜市水道局長
田中 治男 電力技術研究所第2部地質研究室
宮崎 政三 国鉄鉄道技術研究所地質研究室長
牧野 俊衛 農林省農地局建設部
遠藤 浩三 東京都交通局
◎印幹事長兼務 ◎印幹事兼務

③ コンクリート委員会

委員長 国分 正胤(東大)	委員 河野 通之(国鉄)
委員 相原 信夫(建設省)	近藤 泰夫(京大)
新井 義輔(国発)	菅原 操(国鉄)
荒木 謙一(徳島大)	杉木 六郎(小野田セメント)
伊東 茂富(建設省)	関 慎吾(電研)
伊藤 清一(関東復建)	田原 保二(道路公団)
池田 康平(国鉄)	多田 安夫(建設省)
猪股 俊司(極東鋼弦)	竹下 春見(“)
上田 秀正(技術開発)	谷藤 正三(“)
上前 行孝(首都高速)	友永 和夫(国鉄)
内山 実(中央大)	仁杉 巖(“)
小野竹之助(日大)	沼田 政矩(早大)
岡田 清(京大)	野田 和郎(通産省)
岡部 保(運輸省)	齋島 治郎(PSコンクリート)
加賀美一二三(山口大)	畑野 正(電研)
川口 輝夫(国鉄)	樋口 芳明(国鉄)
木村 公道(オリエンタルコンサルタンツ)	深谷 俊明(交通技術)
北川 義男(鹿島建設)	松崎 彬麿(首都高速)
栗原 利栄(道路公団)	丸安 隆和(東大)
後藤 幸正(東北大)	三浦 一郎(国鉄)
	水野 俊一(大阪市大)

委員 水野 高明(九大)	幹事 岩間 滋(道路公団)
宮崎 義成(極東鋼弦)	柿崎 博雄(“)
村上 永一(建設省)	小寺 重郎(国鉄)
村田 二郎(都立大)	塚山 隆一(日本セメント)
山崎 寛司(日本セメント)	西沢 紀昭(電研)
山田 順治(“)	野口 功(国鉄)
横道 英雄(北大)	松野 操平(道路公団)
吉越 盛次(電発)	松本 嘉司(国鉄)
渡辺 和夫(オリエンタルコンクリート)	柳田 力(建設省)

④ プレストレスト コンクリート小委員会

グラウト分科会
委員 土岐 高史 小野田セメントKK
田中 一彦 大成建設KK
コンクリート分科会
委員 小林 一輔 東京大学生産技術研究所
PC鋼材分科会
委員 渡辺 信一 国鉄鉄道技術研究所
武尾敬之助 住友電気工業KK
名見 邪 亘 KK神戸製鋼所
川端 義則 神鋼鋼線鋼索KK
◎中川 昭 鈴木金属工業KK
水馬 克久 高周波熱錬KK
新保 起夫 東京製綱KK
伊藤 祐吉 興国鋼線索KK
◎印は幹事兼務

PC施工分科会

委員 杉木 六郎 小野田セメントKK
樋口 芳明 国鉄鉄道技術研究所

⑤ 本州四国連絡橋技術調査委員会

基礎に関する専門部会

部会長 沼田 政矩(早大)	委員 山川 尚典(建設省)
委員 広田 孝一(電発)	尾之内由紀夫(建設省)
小宅 習吉(飛島土木)	粕谷 逸男(国鉄)
種谷 実(鹿島建設)	幹事 芥川 真知(土研)
兼子 勝(通産省)	新谷 鐵三(“)
岡本東一郎(白石基礎)	多田 安夫(“)
野上強四郎(西松建設)	永盛 峰雄(“)
最上 武雄(東大)	久野 悟郎(“)
小西 一郎(京大)	西片 守(建設省)
村山 朔郎(“)	吉田 巖(土研)
国分 正胤(東大)	大橋 昭光(“)
平井 敦(“)	大橋 秀夫(“)
川口 輝夫(国鉄)	浅間 敏雄(国鉄)
石井 靖丸(運輸技研)	伊崎 晃(鉄研)
福岡 正巳(土研)	樋口 芳明(“)
白石 俊多(白石基礎)	大山 忠(国鉄)
諫山 廉(国鉄大阪工)	石川 正夫(国鉄)
川崎偉志夫(道路公団)	室町 忠彦(鉄研)
佐藤 久慶(石油資源)	田島 二郎(国鉄)
藤田 和夫(大阪市大)	杉田 秀夫(国鉄)
星野 通平(海上保安庁)	持田 豊(国鉄)

⑥ 吉田賞委員会・平山委員長逝去のため下記のごとく交代

副委員長 沼田 政矩→委員長
委員 大石 重成→副委員長

◎各種委員会

(1) 第9回構造物耐震設計研究委員会幹事会(37.1.24)出席者:横田委員,久保幹事長ほか幹事14名。議事:昭和36年度報告書作成のため,残りの条等の審議および今後の取りまとめ方針等を打合せた。

(2) 第8回会誌編集委員会(37.1.25)出席者:斎藤,堺正副委員長,ほか委員20名,幹事1名。議事:1)投稿原稿の審査報告および新規受付原稿審査委員の決定。2)47巻3号登載原稿について。3)依頼原稿状況および新規依頼原稿について。4)講座について。5)その他。

(3) 土木学会 50 周年記念事業委員会 第 4 回 常任委員会 (37.1.25) 出席者：永田，滝山正副会長，ほか委員 6 名，末森専務。議事：1) 第 3 回議事録の承認。2) 経過説明。3) 第 3 回議事録の訂正。4) 用地の現状につき討議。5) 会館建設問題は次回まで山田委員に相談して用地の問題がはっきりしてからとし，したがって幹事の構成についてもこれに順ずる。

(4) 支部幹事長会議 (37.1.26) 出席者：永田，滝山正副会長，末森専務，岡本理事，中村（代森・北海道），佐々木（東北），豊田（代渡辺・中部），米谷（関西），網干（代南・中四），有田，代荒木（西部）の各幹事長。議事：1) 特別員増強について具体的な方法の検討，現在特別員名簿および建設大臣登録業者名簿，全国建設業協会名簿配布，未入会建設業者の入会勧誘方尺力方依頼，北海道支部関係の業者には本部より直接入会依頼状を差し，他はそれぞれ支部宛依頼状を一括送付し支部より適当に依頼状を送送する。2) 特別員増強による支部交付金の増加率について・支部交付金のうち，特別交付金は 70% として刊行物費実費を差し引く。3) 学会の活動飛躍について具体的な方法の検討・① 支部より学会理事の選出をはかること，② 本部支部の連合役員会議をできるだけ多くもつこと，特に支部大会，秋のエキスカッションの時は開催地で連合の役員会を開くこと。③ 本部の行事を極力地方へもち出すこと。4) 支部予算と事業計画の提出・① 年間事業計画は 5 月までに提出する，② 支部における行事については決定次第本部に連絡する。

(5) 土木賞主査幹事会 (37.1.26) 出席者：米谷 学術賞主査，岡本技術賞主査，山本，森，千秋の各幹事。議事：1) 推薦（応募）候補論文の資格検討・1 月 20 日の締切期日までに提出された推薦書 47 通につき候補資格の予備検討を行なった結果，候補論文 37 編はすべて適格として処理することとした。2) 賞の種類重複の件。3) 審査員（案）の選定。4) 審査の手続について。5) 今後の運営方針について。

(6) 臨時構造物耐震設計研究委員会幹事会 (37.1.29) 出席者：久保幹事長，ほか幹事 11 名。議事：36 年度の報告書の原因を作成すべく担当幹事が集まり原案の書き方等打合せた。

(7) 水理委員会第 3 回幹事会 (37.1.29) 出席者：横田副委員長，ほか幹事 14 名，久保氏。議事：1) 水理公式集の改訂について。2) 昭和 36 年度水理学研究の現況を会誌 3 月号に登載の件。3) 昭和 37 年度水理講演会の開催について。4) 昭和 37 年度水理委員会事業計画の立案。5) Conference on Hydraulics and Fluid Mechanics 開催の件。6) 水理研究会会員に対する措置について。

(8) 第 9 回異形鉄筋設計研究委員会 (37.1.30) 出席者：国分委員長，ほか委員 9 名。議事：1) 鉄筋コンクリート倒立 T 形擁壁の設計（第 3 版）および T 桁道路橋について発表形式にとのえるべく審議。2) 異形鉄筋シンポジウム，若いコンクリート技術者の懇談会について。3) 次回はある程度形がととのった機会に開催する。

(9) RC 工場製品に関する分科会 (37.1.31) 出席者：国分委員長，杉木主査，ほか 7 名。議事：1) 第 1 回分科会議事録の承認。2) 委員より提出の資料にもとづき現行示方書改正につき審議。3) 次回分科会を 3 月 23 日（金）14 時とする。

(10) 第 9 回文献調査委員会 (37.2.2) 出席者：久野委員長，ほか委員 13 名。議事：1) 学会誌 47 巻 3 号登載抄録，目録について。2) 文献目録登載雑誌の追加について。3) 次回委員会。4) その他。

(11) 第 9 回国際水理学会報告懇話会 (37.2.5) 第 9 回国際水理学会出席者（秋草 勲，岩佐義朗，田中 清，永井荘七郎，林 泰造の 5 氏）により報告懇話会を行なった（参加者約 40 名）。

(12) 水理委員会 36 年度第 2 回定例委員会 (37.2.5) 出席者：伊藤委員長，ほか委員 26 名，久保，吉川の両氏。議事：1) 第 1 回定例委員会および幹事処理事項につき報告。2) 水理公式集の改訂について。3) 昭和 36 年度水理学研究の現況を会誌 3 月号へ登載の件。4) 昭和 37 年度水理講演会の開催について。5) 昭和 37 年度水理委員会事業計画の立案。6) その他。

(13) 第 9 回会誌編集小委員会 (37.2.6) 出席者：堺副委員長，ほか委員 3 名。議事：1) 47 巻 2 号の口絵およびニュースについて。2) 47 巻 3 号の編集について。3) 今後の編集方針。4) 新規講座の検討。5) その他。

(14) RC 設計計算，新材料合同分科会 (37.2.6) 出席者：国分委員長，樋口主査，ほか委員 4 名。議事：1) 設計計算上の仮定に関する条項の検討。2) 新材料についての調査および検討。

(15) 第 2 回鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 (37.2.6) 出席者：国分委員長，川口主査，ほか委員 36 名。議事：1) 第 1 回コンクリート委員会の報告。2) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂に関する意見の検討。3) 各分科会主査より分科会の進捗状況報告。4) 分科会の再確認（主査幹事の選定）このままで条文を作り始める。5) 今後の日程を次のように決定

4 月 10 日	原案提出（条文のみ）	5 月 15 日	小委員会
4 月 20 日	主査幹事会	5 月 25 日	コンクリート委員会

(16) 昭和 36 年度第 3 回水理特別委員会（八郎湯干拓）(37.2.7) 出席者：本間委員長，ほか委員 6 名，関係者 9 名。議事：実験設備の概要説明および実験視察・視察終了後，その実験に関する討議を行なった。次回は 3 月に予定する。

(17) 第 5 回出版企画委員会 (37.2.12) 出席者：荒井副委員長，八十島幹事長，ほか委員 10 名，幹事 2 名。議事：1) 土木工学用語事典の編集については計画案を一部修正して幹事会にはかる。2) 学会発行出版物の性格について検討。3) その他。

(18) PC 鉄道橋設計施工基準研究委員会幹事会 (37.2.14) 出席者：友永委員，ほか幹事 8 名。議事：1) PC 鉄道橋設計および施工基準第一原案にもとづき審議した。3 月 9 日までに訂正点を学会に提出願うことにした。

(19) 土木賞主査幹事会 (37.2.14) 出席者：米谷 学術賞主査，岡本技術賞主査，ほか幹事 4 名。議事：1) 土木賞委員からの回答書の集約結果により価値の判定を行なった。2) 学会賞と技術賞に別々に推薦されておるものの処置について討議した。3) 審査依頼文につき審議した。4) その他。

(20) 水理学現況に関する打合せ (37.2.14) 出席者：委員 4 名。議事：水理委員長の指名により担当の委員が集まり，会誌 3 月号に登載する水理研究の展望に関して原稿をとりまとめた。

(21) RC 第 5 分科会 (37.2.15) 出席者：大池主査，ほか委員 6 名。議事：1) 小委員会の経過報告。2) 担当条項の再確認。3) 各委員が各条項につき議案を作り 3 月 12 日に持寄る。4) 次回委員会予定（3 月 12 日，19 日，29 日，4 月 5 日）。

(22) 構造物耐震設計研究委員会 (37.2.19) 出席者：沼田，岡本正副委員長，久保幹事長，ほか委員 5 名，幹事 13 名。議事：1) 今まで幹事会でとりまとめた報告書作成案を各担当幹事が説明。2) 訂正すべき点を修正し 3 月 5 日までに学会に提出し報告書を作成することにした。

(23) 第 2 回 PC 鋼材分科会 (37.2.20) 出席者：委員 13 名，幹事 3 名。議事：1) 第 1 回議事録の確認。2) 事故調査表について。3) PC 鋼材の試験方法について。4) 次回分科会は 5 月下旬～6 月上旬に行なう。

(24) 第 3 回 PC コンクリート分科会 (37.2.20) 出席者：国分委員長，村田主査，ほか委員 8 名，幹事 7 名。議事：1) 第 2

回議事録の承認。2) 調査表について。3) 国鉄大阪環状線PC桁、吉井川橋梁PC桁、クリーブ乾燥収縮測定結果の図表の説明。4) 鉄筋コンクリート標準示方書の改訂が進んでいるので無筋についてもこれにあわせてスタートするべく打合せた（主査樋口芳朗氏）。

(25) 第1回トンネル工学研究委員会(37.2.20) 出席者：藤井委員長、ほか委員18名、末森専務。議事：1) トンネル工学研究委員会発足に至るまでの経過報告。2) 委員長挨拶および委員の自己紹介。3) 委員会の構成について・新たに遠藤浩三氏(東京都交通局)を委員に追加。4) トンネル工学に関するシンポジウムについて・①6月頃に開催する。②世話役は幹事が担当する。5) トンネル工学標準示方書の作成について・①国内および国外の示方書を3月10日まで集める。6) その他。

(26) RC版に関する分科会(37.2.21) 出席者：委員2名。議事：鉄筋コンクリート標準示方書の版に関する条項を改訂すべく打合せを行なった。

(27) 本州四国連絡橋技術調査委員会(37.1.24) 出席者：永田会長、内海、鈴木両副委員長、ほか委員26名、末森専務、幹事6名、世話役4名。議事：1) 末森専務、永田会長、内海副委員長挨拶。2) 委員の紹介。3) 内規の説明および審議。4) 建設省、国鉄より過去における調査の報告。5) 専門部会の設置について・①基礎に関する専門部会の設置が承認され、その部会長として沼田委員が推薦された。6) その他。

(28) 第54回耐震工学委員会(37.2.22) 出席者：那須委員長、ほか委員9名。議事：1) トレーニングセンターについて久保委員よりトレーニングの現況につき説明。2) 土木賞について・前回委員会の決議により本委員会として土木賞委員会に候補を推薦した旨報告。3) 国鉄委託構造物耐震設計研究委員会について・2月19日に本委員会に配布した報告書(案)にもとづき今年度の報告をする件につき、久保委員より報告。4) 北美濃地震報告書の作成について・昨年9月に開催した北美濃地震報告会の原稿取まとめにつき打合せた。5) 昭和37年度予算について。6) その他。

◎その他

(1) 第4回関東地区学生諸君のための映画会
日 時：37年1月27日(土)14.00～16.00
会 場：土木学会会議室
参加者：60名
上映映画：(1) 東海道新幹線
(2) 躍進する鉄道技術
(3) 北陸ネット
(4) 紀勢線全通

(2) 第5回関東地区学生諸君のための映画会
日 時：昭和37年2月17日(土)14.00～16.00
会 場：土木学会会議室
参加者：20名
上映映画：(1) 橋のしくみ
(2) 橋(多摩川大橋)
(3) 肱谷橋(PCディビダーク工法)

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 道路講習会
日 時：昭和37年1月24、25日
場 所：仙台商工会議所会議室

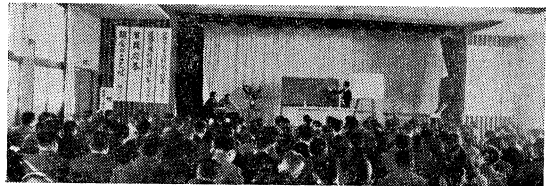
主 催：土木学会東北支部・日本道路協会・日本道路建設業協会東北支部

参加者：350名(受講料200円)

講演内容

第1日
開会のことば 支部長 樋浦大三
アスファルト舗装設計について 土木研究所 竹下春見
" 施工について 日本舗道KK 亀掛川振興
質疑応答
第2日
クロソイドの解説と設置 土木研究所 伊吹山四郎
道路の線形設計について 日本道路公団 大塚勝美
質疑応答
閉会のことば 東北地建道路部長 坂田中

講習会会場全景



◎関西支部

(1) 道路のための土質工学講習会(37.1.16～17日の2日間、大阪府職員会館)

主催：土質工学会関西支部、協賛：関西道路研究会・土木学会関西支部

参加者 444名 参加費 400円

(2) 第9回幹事会(37.1.19、土木学会関西支部事務局) 出席者：米谷幹事長、宮崎、赤尾、毛利、石田、小仲、岩崎、水野、岡田、岡田(代赤井)、大村の各幹事

(3) 幹事異動

退任：KK大林組土木部次長、中川貞雄氏 同名古屋支店土木部長に転任

委嘱：大成建設KK大阪支店土木課長 宮田裕氏

(4) 第4回見学会(37.2.6) 十三バイパス、京阪電鉄淀屋橋乗入れ工事、高速鉄道四号線、第二阪神国道安治川付近、梅田地下街工事を見学

参加者 126名 参加費 100円

(5) 爆破に関する技術研究会(37.2.13) 大阪府職員会館)

① 爆破用火薬類について

京都大学助教授 工博 若園吉一

② 爆破の実施について

鹿島建設KK土木工務部工事計画課長 工博 佐藤忠五郎

参加者 101名 参加費 無料

(6) 第10回幹事会(37.2.20 土木学会関西支部事務局) 出席者：米谷幹事長、岩崎、打田、水野、毛利、大村、石田、赤尾、岡田、宮田、伊藤、芳内、宮崎の各幹事

御 願 い

36年度会費を未納の方は至急御払込み下さるよう御願いたします。会費の御払込がありませんとやむなく送本をとめることとなります。

土木学会会員課

編	集
後	記

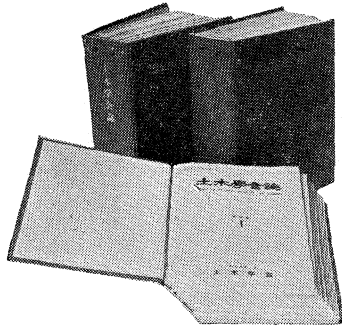
永かった冬ごもりが終って再び活発な工事が開始される春がやってきました。諸兄も一段と御多忙のことと存じます。会計年度でいえば4月が正月。一年の計をねって張切ってられる諸兄の御手許に3月号をお届けいたします。

3月号では資料として水理委員会編の「最近における水理学の現況」を、掲載しました。内容は現在わが国の諸研究機関で行なっている水理学に関する研究のテーマ、研究者名、発表文献などを列記したものと、研究内容の総合的な解説です。もし会員各位の御賛同があれば、コンクリート、土質工学等々と、この種の記事をのせて行きたいと思っておりますので、この点

につき御意見をお寄せ下さい。

学会誌のあり方に関する1月号の永田会長の御意見は今日の、編集委員会の方針としてそのまま取入れるべきだと考えます。また12月号の「総合研究水文学シンポジウムの案内」といった一部の会員のみに対するサービスと思われるものも、事情の許す限り掲載することにしております。気軽に学会誌を御利用下さることをお願いいたします。

ただ、土木学会誌投稿要領を御熟読の上その主旨にそうようにお書きいただければ、委員会の審査は必要なくなるでしょう。せっかくの御投稿が一号でも早く印刷に廻されるように私達も努力しております。
【岩崎・記】



土木学会誌の保存は合本ファイルで

毎月の学会誌は貴重な研究資料です。学会誌の保存には3つの特長をもつ合本ファイルをご利用下さい。

①操作がきわめて簡単、②本の組替えが自由、③製本費が省ける
B5判学会誌12冊とじ用(薄グリーンクロス装、金文字入)
定価 150円 (〒70円)

お申込みは東京都新宿区四谷一丁目土木学会へ(振替東京16828番)、入金次第発送いたします。

会員入退会について(昭和37年2月1日~28日まで)

1. 入会 107名(正70 学28 特1.C6 特1.D3)
2. 退会 16名(正15 特1.D1)
3. 死亡 4名(正)

会員現在数(昭和37年2月28日現在)

名譽	正員	学生員	賛助	特級	特1.A	特1.B	特1.C	特1.D	特2	計	(増)
38	13367	1360	30	14	14	27	140	223	18	15231	(87)

正員	井上 禎一君	鉄道弘済会理事四国支部長	昭和 36.12.27	死去	64才
"	上野 有芳君	天塩鉄道KK顧問	" 37. 2. 8	"	89才
"	豊田 治幸君	大阪府内港復興工営所長	" 36.11.29	"	50才
"	丸山 平次郎君	KK関東復建事務所取締役	" 36.12.12	"	57才

昭和37年3月10日印刷

昭和37年3月15日発行

土木学会誌 第47巻 第3号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 末森猛雄

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円(送料15円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番

昭和36年度土木学会名簿正誤表

ページ	行	欄	誤	正
11	上から4	住 所	都港区麻布広尾町1の120 一ツ橋ビル2号館 2036	都港区麻布新広尾町1の120 1ノ橋ビル2号館 2036
12	上から5	〃	都世田谷区下馬1の259 の64	都豊島区駒込町4の15 国鉄アパートAの7
13	上から15	〃	大阪市東区大手前之町 大阪合同庁舎内 建設省近畿地建企画室内	大阪市東区京橋3丁目 大阪建設会館地下 電(大阪)84-3651
14	上から15	〃	横浜市南区井戸ヶ谷中町 86	横浜市南区井土ヶ谷中町 86
45	上から14	職 業	国鉄, 東鉄	国鉄, 施設局保線課
54	下から13	〃	宮崎大学工学部講師土木学科	宮崎大学助教授土木教室
66	下から10	卒業年次	東大, 大 13	東大, 2
〃	〃	職 業	北海道電力KK常務取締役土木部長	取締役副社長
〃	〃	住 所	道札幌市南5条西20丁目(電(3)3541)	道札幌市北5条西17丁目(電(2)3757)
78	下から3	住 所	都港区麻布本町 173	都港区麻布本町町 173
107	上から20	〃	岐阜市住町2の3(勤務先)	岐阜市長住町2の3(勤務先)
119	下から14	学 位	川島 晋	工博 川島 晋
132	下から9	職 業	朝鮮民主主義人民共和国国内務部土木局道路課	朝鮮内務部土木局道路課
162	上から12	住 所	都武蔵野市境桜住宅7の201	都武蔵野市境桜住宅7の201
181	上から10	〃	都千代田区大手町1の1(勤務先)	都千代田区丸の内1の1(勤務先)
186	下から10間	氏名職業住所	神 修三-自営 神工務店	北海道苫小牧市表町 18 電(苫小牧)2714
199	上から21	卒業年次	36	26
206	下から11	氏 名	田中行雄	田中行男
218	下から12	出身校次	九大院 25(修)	日大 23
221	上から5	住 所	神奈川県桜山 1604	神奈川県厚田市桜山 1604
223	下から9	職 業	山梨大学助教授	山梨大学教授
〃	〃	住 所	甲府市北新町4の6	甲府市古府中町 2172
227	下から14	住所職業	国鉄北海道支社調査役 道札幌市北2条西12丁目	国鉄東京操機工事事務所長 都三鷹市牟礼 399
238	上から18	氏 名	富山道三	当山道三
239	上から13間	氏名住所	特津弘道-中国電力KK	広島市二葉の里東照宮山乙の13 番中電二葉の里アパート54号
247	上から18	氏名職業	中治誠三	中路誠三 東海開発KK専務取締役 電(201)3429
255	下から11	出身校	阪大 33	阪大院 33 修士
256	上から17	住 所	永井淑郎, 建, 関東地建, 道路部, 道路計画課長, 都港区芝海岸通り1の25(勤務先)	永井淑郎, 建, 関東地建, 甲府工事事務所長, 山梨県甲府市緑ヶ丘町(勤務先)
259	上から8	出身校	長浜正雄, 京大 15	長浜正雄, 東大 15
265	下から5	職 業	山形県土木部河港課次長	山形県企業局工務部土木課長
275	上から7	住 所	都杉並区上荻窪1の24	都杉並区上荻窪1の24
278	下から6	職 業	興和コンクリートKK営業部長	東亜コンクリートKK営業部長
288	上から5	住 所	神奈川県川崎市高石百合ヶ丘団地 127 の 302(勤務先)	都北多摩郡狛江町岩戸 1229(勤務先)
298	上から18	住 所	埼玉県宇都宮市	栃木県宇都宮市
298	上から20	学 位	工博 福留並喜	福留並喜
303	下から7	職 業	宮崎大学工学部講師土木教室	宮崎大学助教授工学部土木教室
322	上から16	〃	北陸電力KK富山地区電力所蟹ヶ原発電所	関西電力KK北陸支社土木課水路係長
325	上から14	氏 名	松本順一郎	松本順一郎
331	上から6	氏名職業住所	三輪康平, 近畿日本鉄道KK土木部営業局保線第二課長, 三重県名張市平尾	三善康平, 近畿日本鉄道KK技術局土木部 大阪府八尾市山本高安町1の158 近鉄社宅
〃	上から10	氏 名	三好 匡	三輪 匡
334	下から3	学 位	工 博	工 博
342	下から1	職業住所	徳島県土木部長, 徳島市杉妻町 16(勤務先)	福島県土木部長, 福島市杉妻町 16(勤務先)
351	上から7	住 所	都板橋区志村前野町 471	都板橋区志村前野町 417
〃	下から10	学 位	工 博	工 博
〃	〃	卒業年次	九大 7	九大 大7
〃	下から9	住 所	都新宿区弘方町9	都新宿区弘方町9
362	上から9	学 位	農大	工博, 農博 東大(農)
368	下から14	職 業	電源開発KK企画部課長待遇	電源開発KK土木計画部調査役
371	上から5	出身校	鉄教, 播磨造船所東京事務所	鉄教高
375	上から10	職 業	電源開発KK土木部設計課	電源開発KK土木計画部土木計画課
〃	上から12	〃	山口大学助教授	山口大学教授
〃	上から13	卒業年次	東大, 25	東大, 25
379	下から19	職 業	電源開発KK土木部設計課	電源開発KK海外電力調査会
379	下から3	出身校	早大専	日大専
〃	〃	職 業	パシフィックコンサルタンツKK技術部長	パシフィックコンサルタンツKK取締役第四部長
〃	〃	電話番号	電(0229)5284	(電(04229)5284
380	上から16	氏 名	鷲津久一郎	鷲津久一郎
381	上から1	職 業	電源開発KK土木部工事一課	電源開発KK土木部工事課
383	下から14	〃	〃 奥只見建設所発電所	〃 土木計画部土木計画課
414	下から13	氏 名	藤沢康晴	深沢泰晴

ページ	行	欄	誤	正
433	下から1	団体名	国鉄広島支社施設部長	国鉄中国支社施設部長
440	下から15	題目	路盤の支持力に関する土質力学的	路盤の支持力に関する土質力学的研究
444	下から16	電話番号	(761) 6577 呼出	(776) 6577 呼出
445	上から17	氏名	山崎匡輔	山崎匡輔
469	下から2	氏名	坂西徳太郎	坂西徳太郎
475	下から1	住所	新潟市番堀通り3番の2	新潟市白山浦 425 の2
483	左下から7 左下から18 左下から19	電話番号	電 (025) 立川代 2155	電東京 025-2-2155
509	上から6	団体名	セメント技術協会	東京都 (ゴジック) 挿入 日本セメント技術協会

正 誤 追 補

ページ	行	欄	誤	正
43	上から14	学 位	井田至春	工博 井田至春
101	上から16	職 業	第2部構造研究室	第2部コンクリート研究室
107	下から2	学 位	垣谷正道	工博 垣谷正道
116	上から8	氏 名	神谷貞吉	工博 神谷貞吉
132	上から6	氏 名	君島博次	工博 君島博次
152	上から8	氏 名	後藤幸正	工博 後藤幸正
182	上から14	氏 名	嶋 祐之	工博 嶋 祐之
185	下から8	住 所	都世田谷区成城町 426 齊々寮	都世田谷区喜多見町 2064
199	下から7	学 位	千秋信一	工博 千秋信一
221	下から19	氏 名	武井 篤	工博 武井 篤
332	下から18	学 位	松田暢夫	工博 松田暢夫
332	上から7	職 業	電研土木部水理課	電技研, 第2部水理研究室
356	上から21	氏 名	東京電力KK水路課長	東京電力KK鬼怒川水力建設事務所長

**MITSUI
MIIKE**

高性能の建設機械!

アルマン スウイング ショベルローダ

特 長

- 180°のスウイング可能であります。
- 駆動車輪を短時間にクローラに置換えられます。
- 15のアタッチメントの取替えにより、堀削荷役排土等々多目的に使用されます。エンジンは、空冷です。
- 迅速性 経済性、確実性をモットーと致します。

主要仕様

型 式	A III Z	A V Z
バケツ容量 m ³	標準0.7(0.57~1.7)	
持上容量 kg	1,300	1,600
移動速度(前後進共)km/h	3.2~19.6	3~19.5
操 作 方 式	全 油 圧 方 式	
エンジン最大馬力(空冷)	54	90
総 重 量 kg	7,500	8,500



輸入元 株式会社 シー・コーレンス 商会

販売総代理店 株式会社 三井三池製作所

本 店 東京都中央区日本橋室町2の1 電話日本橋(専)2777(代)2331 2341 工 場 福岡県大牟田市旭町2の28 電話大牟田(代)8301・2572・5952
大阪事務所 大阪市北区中之島3の5 三井ビル内 電話土佐堀(441)(代)3731 営業関係 東京・大阪・三池・福岡・広島・名古屋・札幌